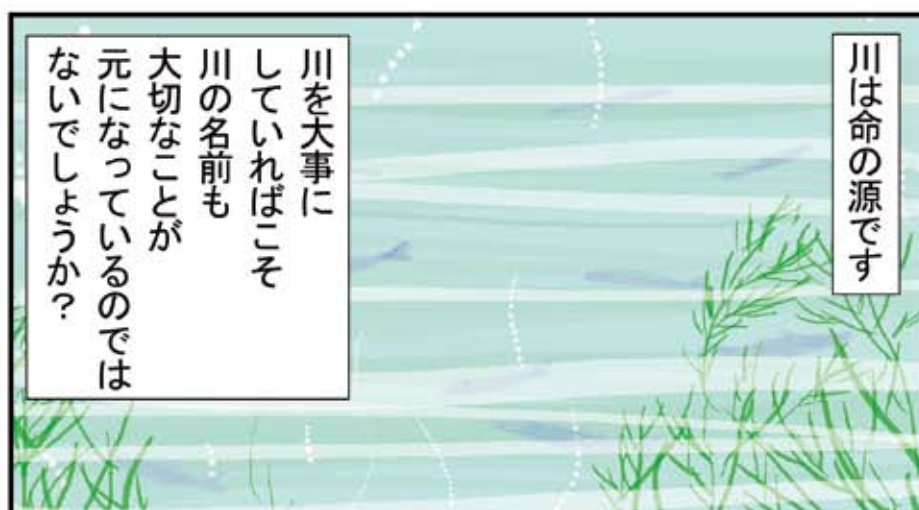
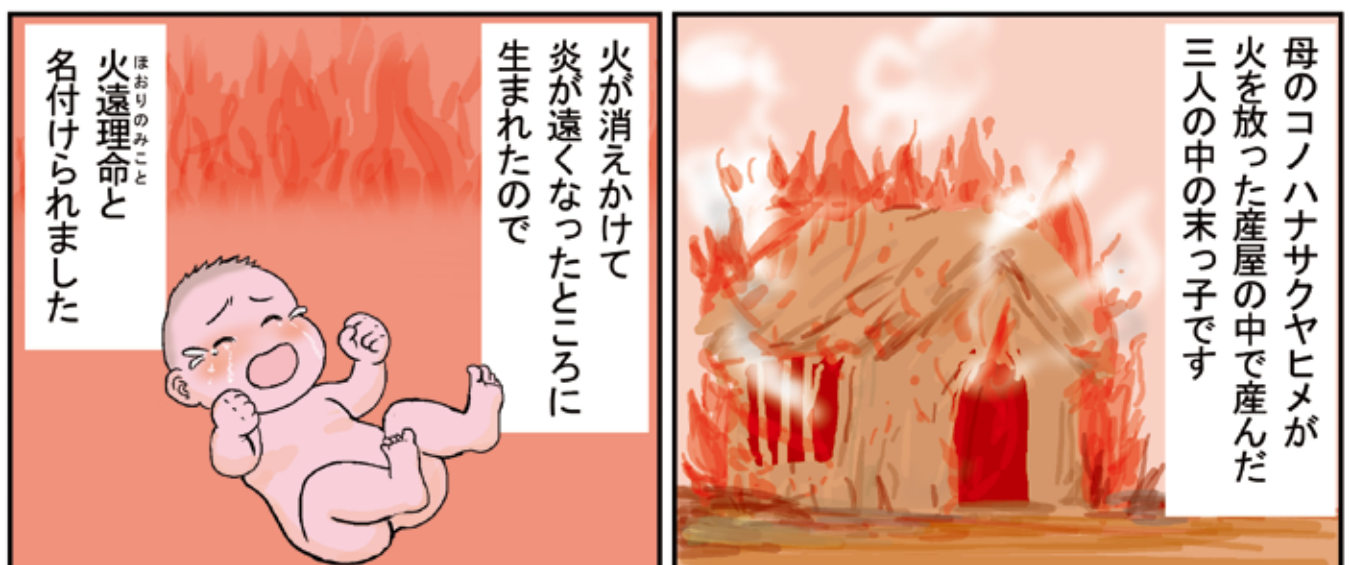
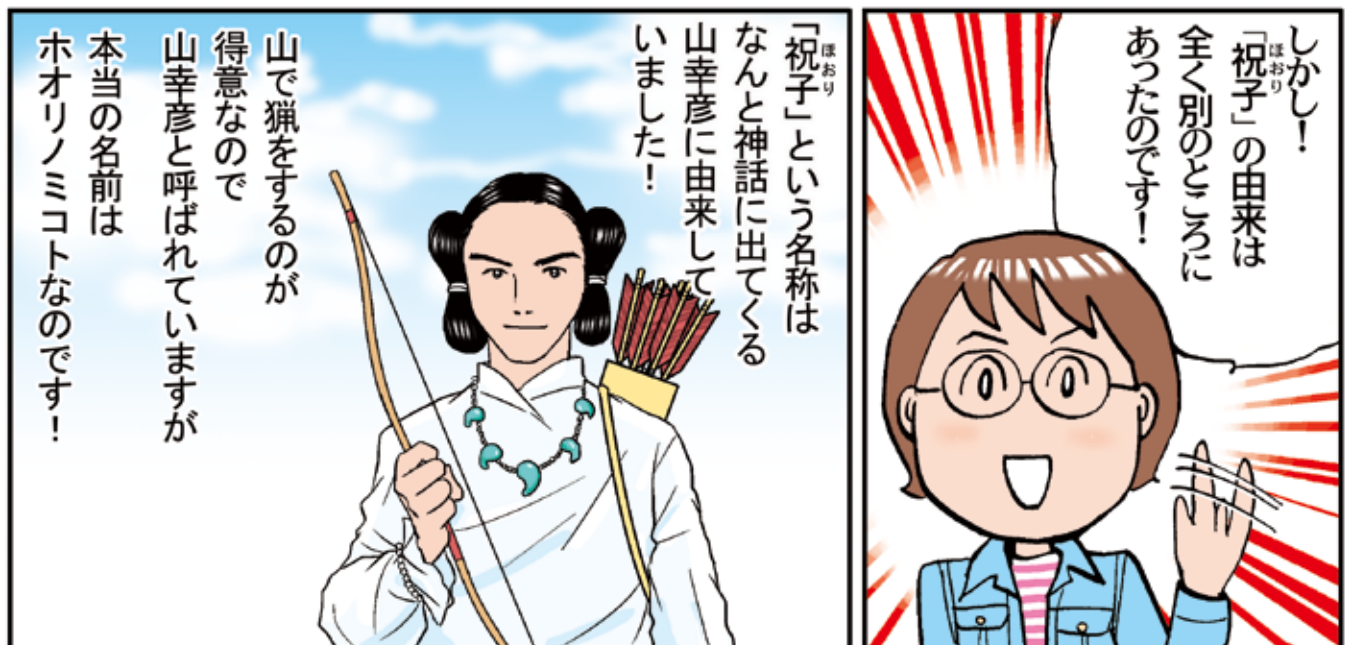
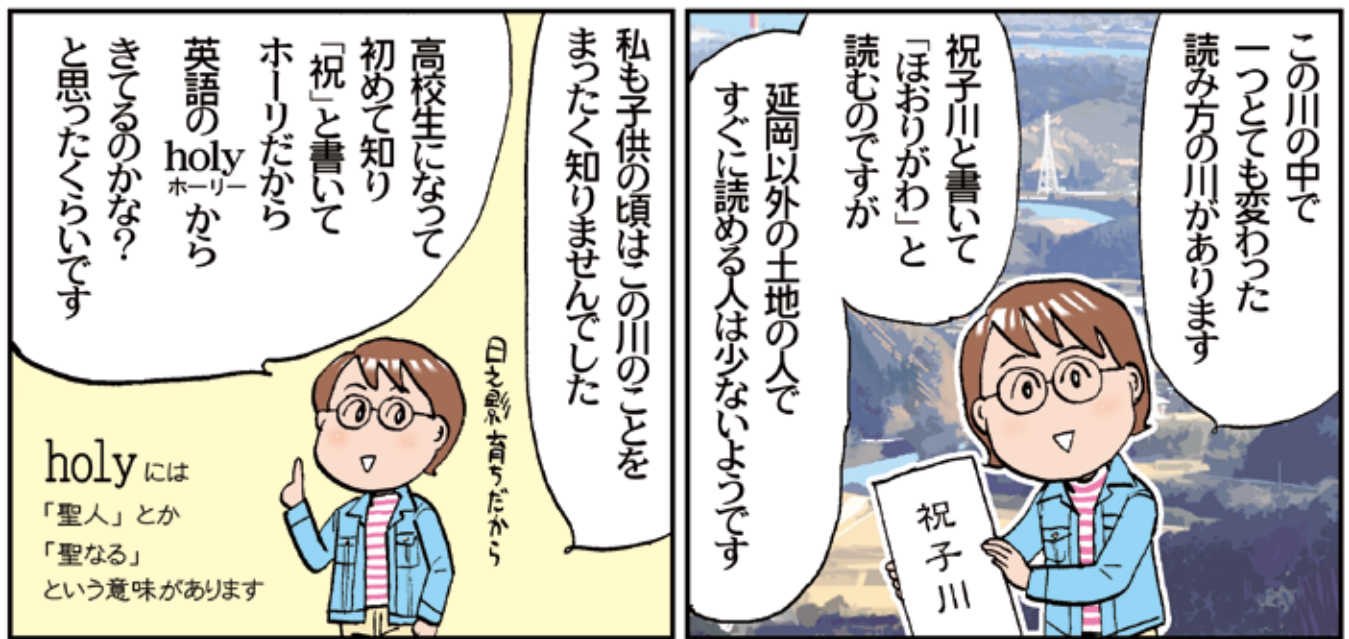
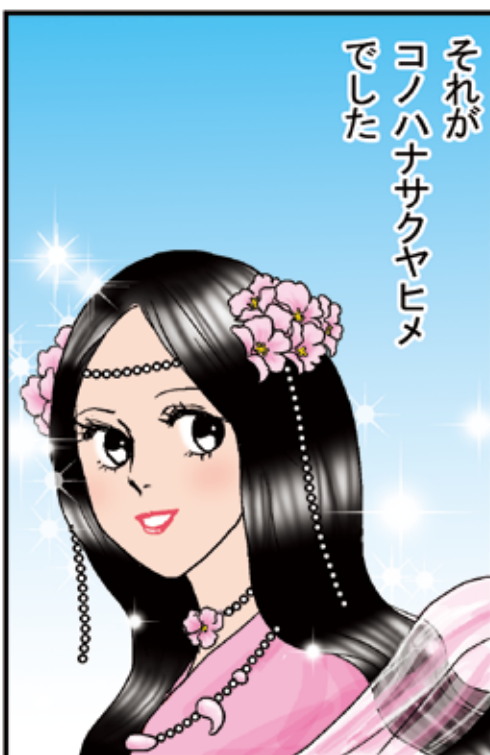
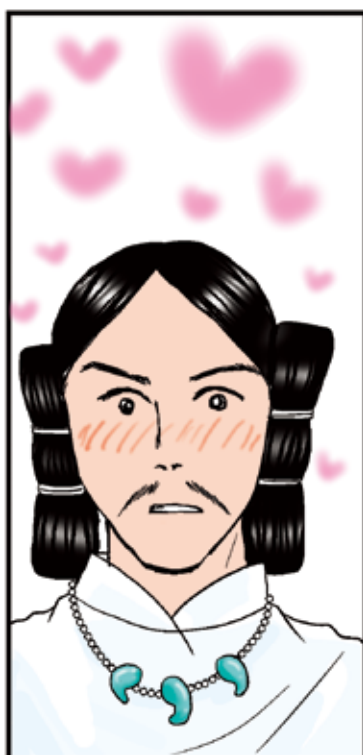
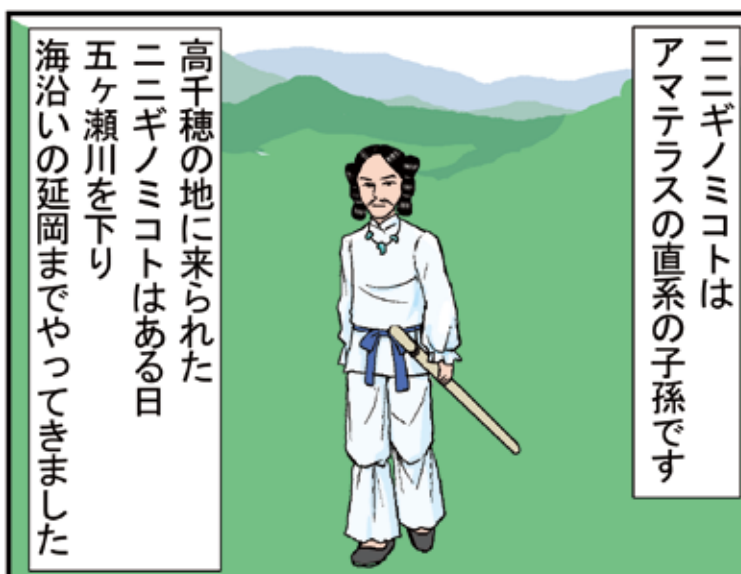
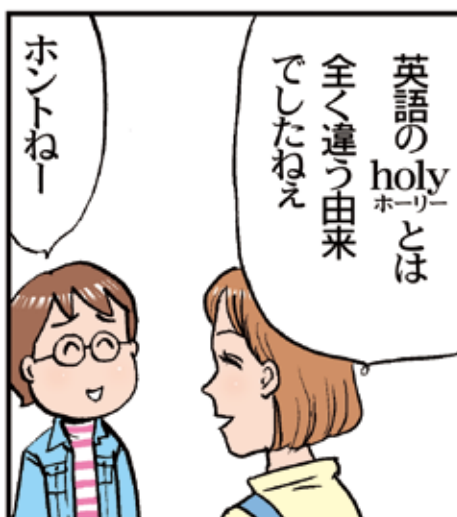


延岡市

笠沙御碕伝説



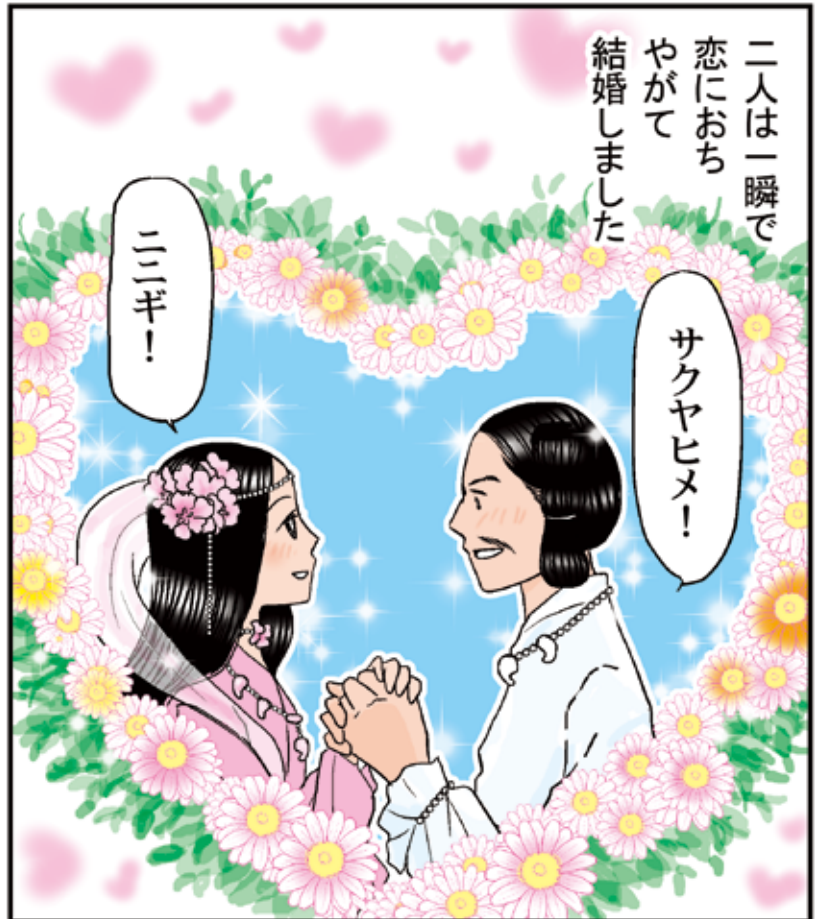




二人は一瞬で
恋におち
やがて
結婚しました

サクヤヒメ!

ニギ!



二人が出逢ったのが
笠沙の御碕
現延岡市の愛宕山です

二人のロマンスを記念して
愛宕山は出逢いの聖地と
伝えられています



そして
ニギがなくなり
葬られた場所も
この近くにありますが
それが北川の可愛岳



ニギは

明治7年(1874)

維新政府によって

神陵と定められた所です

候補地は他にもあるのですが

標高727mの可愛岳は

巨石奇岩が露出する険しい山です

拝み石と名づけられた三角形の岩や

山頂付近の三本岩など

ニギの御陵墓にふさわしい不思議な景観です



さて
神さまが出逢って結婚し
子孫を残した
——
という話は

しそんはんえい
子孫繁栄
いしくほうじょう
五穀豊穰を願う気持ちの
表れです

それなら
どこで出会っても
いいのに

なぜこの
延岡愛宕山
だったのでしょうか？



愛宕山は昔
笠沙の岬という
地名でした

原始時代には今よりも
海水面が高く

愛宕山は
海に突き出す
岬だったのです

縄文時代になると
海面も下がり
まわりに
広い土地ができました

2千年前の弥生時代には
集落ができ
水田も作られるよう
になりました



そしてここには北川
祝子川 五ヶ瀬川という
豊かな川が
山から流れてきます

深い森を上流にもつ川は
植物性プランクトンを
たくさん含んでいます
この川の水が注ぐ海は
魚や貝がたくさんとれる
豊かな漁場となるのです

延岡の海辺は
米も魚もとれる豊かな土地
だったのではないですか



人が集まるところには
出逢いがあり
別れがあり
さまざまな物語が
生まれます



五ヶ瀬川を下ってきた
青年が
笠沙の岬で出会った
女性と恋におちた――



そんなことも
実際にあったでしょうね



この話が
すぐリアルなのは
サクヤヒメと
ニニギが
結婚しても
なにかと
トラブルをおこす
というところです



なんとニニギは
サクヤヒメのお姉さんを
不器量だからという理由で
おいかえすし

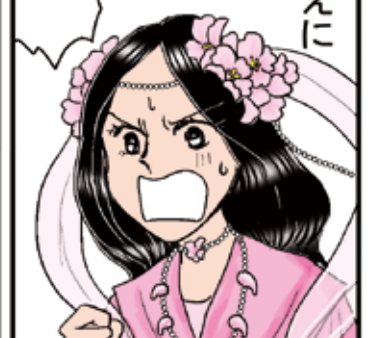
サクヤヒメが
すぐ身ごもったことを
なじるし

えっ
もうできたのか?



身勝手な性格ゆえに
サクヤヒメの
怒りを買います

ひどい!!



サクヤヒメも
烈しい性格で
子供を産むとき
産屋に火を放つ
のです

あなたは
神さまなのよ!

神さまの子だから
火の中で生まれても
死なないのよ!

私と子供が
生きてるのが
証拠よ!

おいおい
落ち着いて!

ニニギは本当に焦った
ことでしょう



